



住友電工

Connect with Innovation

会社案内

住友電気工業株式会社

大阪本社 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜4-5-33(住友ビル) TEL 06-6220-4141(代)
東京本社 〒107-8468 東京都港区元赤坂1-3-13(赤坂センタービルディング) TEL 03-6406-2600(代)



<https://sumitomoelectric.com/jp/>



住友電工は「2025年大阪・関西万博」を応援しています。

2023.08
©Expo 2025

SUMITOMO
ELECTRIC
GROUP

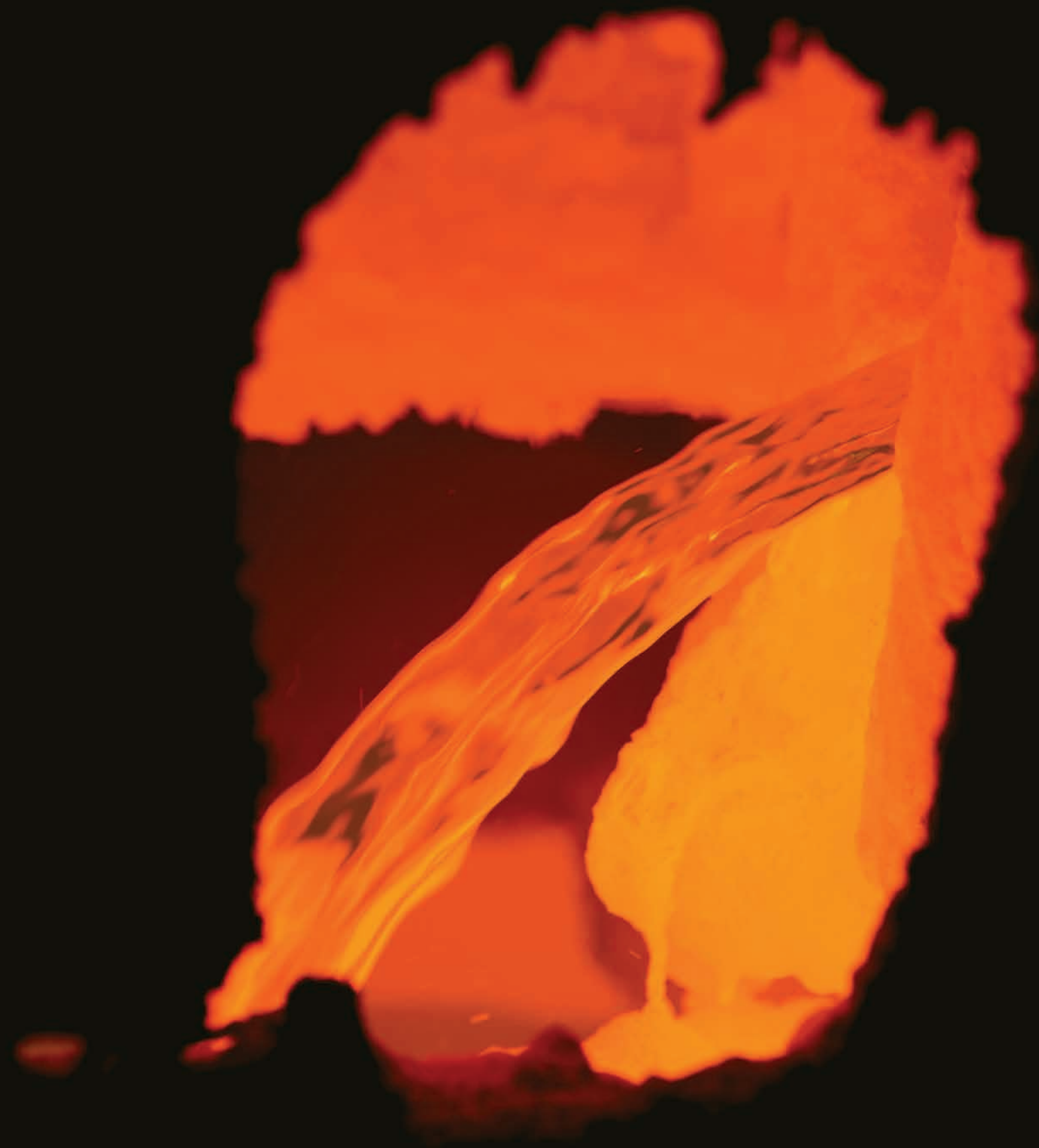
400年以上前にさかのぼる、 私たちの源流。

多様な事業をグローバルに展開し、
世界約40カ国で、約28万人の企業へと
成長を遂げてきた私たち住友電工グループ。
その源流である住友の銅事業は、
400年以上前にさかのぼります。

当時、世界有数の銅生産国だった日本において、
画期的な精錬技術「南蛮吹き」と
その後の別子銅山の発見によって
住友の礎が築かれていきました。

さらに時代が進み、電燈や電信・電話が発明されると、
銅線の需要が高まります。
そうした中、1897年に別子産の銅を使って電線を製造する
私たち住友電工グループが誕生しました。

時代の進展とともに、
モノづくりを通じて社会に貢献しようと挑んだ
先人たちの熱い想いがあったのです。



Corporate Philosophy

400年の時を経て、受け継がれ生き続けている精神

SUMITOMO ELECTRIC

住友事業精神

営業の要旨

第一条 我が住友の営業は、信用を重んじ確實を旨とし、
以てその鞏固隆盛を期すべし

第二条 我が住友の営業は、時勢の変遷、理財の得失を計り、
弛張興廃することあるべしと雖も、苟も浮利に趨り、軽進すべからず

(1928年制定 住友合資会社社則より)

萬事入精

ばんじにつせい

「文殊院旨意書」の前文、「商事は不及言候へ共、万事情（精）
に可被入候」に由来する言葉で、まず一人の人間として、何事
に対しても誠心誠意を尽くす人であれと諭しています。この
教えは「住友事業精神」の基本となり、住友では一人ひとりが
安易な利益追求に走ることなく、人間を磨き、人格豊かに成
熟することが求められています。



文殊院旨意書*

信用確実

しんようかくじつ

第一条では、「住友事業精神」の基本は、「何よりも信用を重
んじる」こと、すなわち「常に相手の信頼に応える」ことを表
しています。

不趨浮利

ふずうふり

第二条の前段では、社会の変化に迅速、的確に対応して利潤を
追求すべきであり、既存の事業に安住することなく常に事業の
興廃を図るという積極進取の重要性を説明しています。しかし
常に公共の利益との一致を求め、浮利を追い、軽率、粗略に行
動することを厳に戒めています。浮利とは、一時的な目先の利
益あるいは安易な利益追求のことですが、道義にもとる不当
な利益の意味が込められています。



住友家法*

また、住友には下に示すような脈々と受け継がれている考え方があります。

『技術の重視』、『人材の尊重』、『企画の遠大性』、『じりりたこうしいち自利利他、公私一如』

※出所：住友史料館

住友電工グループ 経営理念

住友電工グループは

- 顧客の要望に応え、最も優れた製品・サービスを提供します
- 技術を創造し、変革を生み出し、絶えざる成長に努めます
- 社会的責任を自覚し、よりよい社会、環境づくりに貢献します
- 高い企業倫理を保持し、常に信頼される会社を目指します
- 自己実現を可能にする、生き生きとした企業風土を育みます

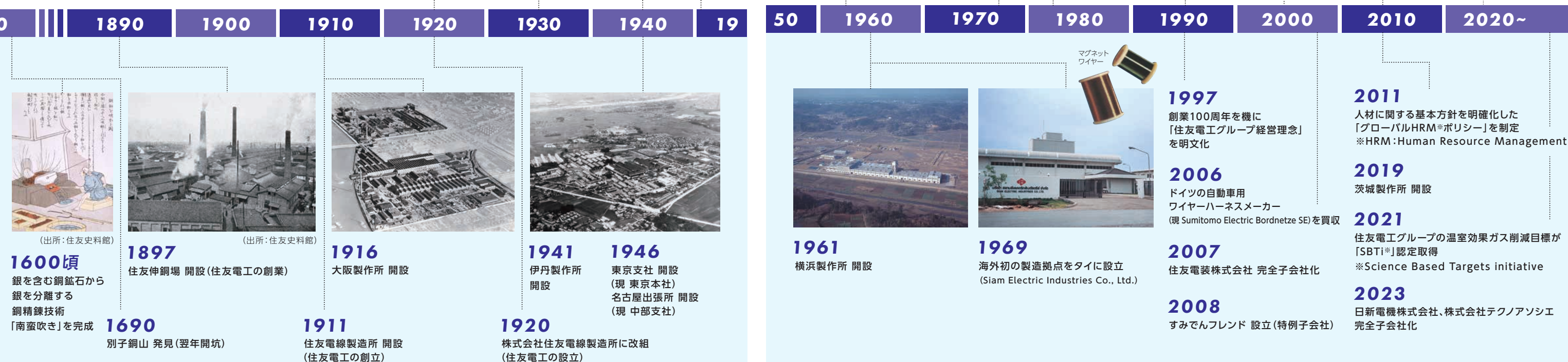
History

120年を超える挑戦と変革の歴史

事業の展開

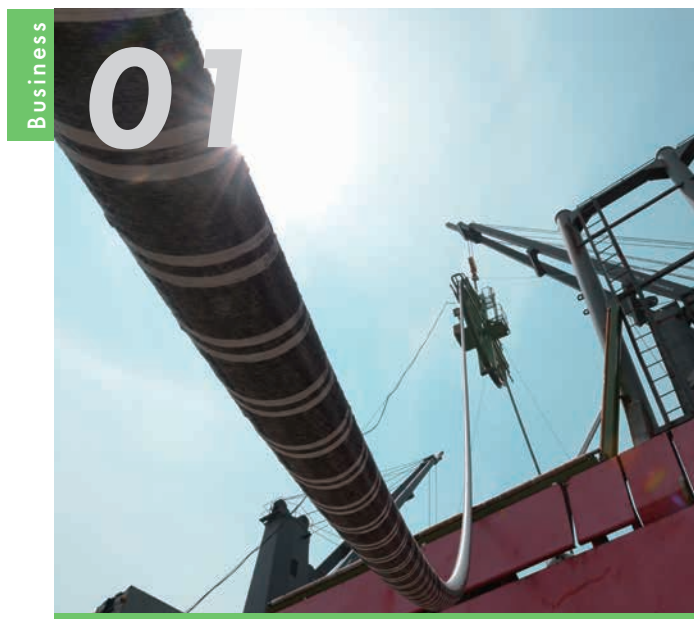


会社の沿革



Business Segment

社会課題の解決に技術で挑む5つの事業分野



再生可能エネルギーの普及など、
新しいエネルギーシステムを構築する。

Environment & Energy

環境エネルギー

ヨーロッパでは大型国際連系線プロジェクトが立ち上がり、新興国においては電力インフラの需要が伸びています。再生可能エネルギーの導入が増え、電気自動車も普及する中、環境エネルギーに関わる住友電工グループの豊富な経験と技術が必要とされています。日本国内トップの事業基盤と実績をベースに、世界へ事業を拡げ、グローバルなプレゼンス向上を目指します。

増加するデータトラフィックに応え、
大容量高速通信の実現に挑む。

Info-communications

情報通信

AI・IoT関連需要を支えるクラウドサービスの拡大やデータセンタの大型化、ネットワーク高速化の鍵となる第5世代移動通信システム(5G)時代の到来により、データトラフィックは格段に増加しています。光ファイバ・ケーブル、伝送デバイス、化合物半導体基板、アクセス機器などの開発力、製造技術を強みとする住友電工グループは、大容量高速通信を実現し、デジタルトランスフォーメーション(DX)の時代を支えていきます。



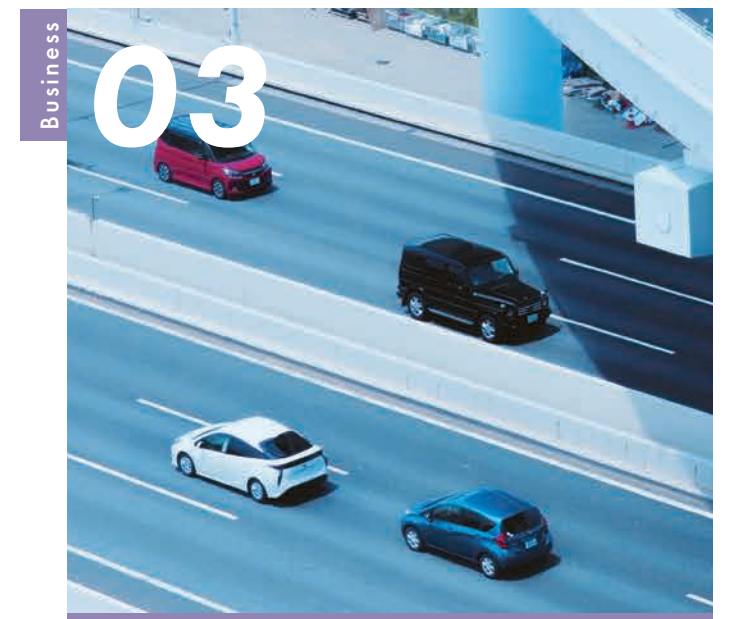
CASEの加速的進展と
モビリティの進化に貢献する。

Automotive

自動車

世界の自動車販売台数は緩やかに増加する中、環境対応車が急拡大しています。CASE*の加速的進展、異業種の参入など、自動車業界が大きな変革期を迎えている今、私たち住友電工もグループ内リソースを結集し、モビリティの進化に貢献していきます。

*CASE:自動車業界のトレンドを表す言葉で、Connected(つながる)、Autonomous(自動運転)、Shared(シェアリング)、Electric(電動化)の頭文字をとったもの。



モバイル端末・自動車・航空機器の
さらなる進化を支える。

Electronics

エレクトロニクス

モバイル端末の伝送情報量の飛躍的な増加により、新たな機能や規格の開発が加速しています。また、電気自動車や自動運転の実現に向けてカーエレクトロニクス製品や航空機器向けのニーズも増えています。成長市場を支えると共に、高機能配線と高機能部材のグローバルトップサプライヤーを目指します。

高機能な素材を開発・提供し、
産業や社会インフラの発展に寄与する。

Industrial Materials

産業素材

自動車の電動化進展に伴い、軽量化材料が求められ、医療や航空機市場でも住友電工グループ製品に対するニーズが高まっています。私たち住友電工グループは世界トップレベルの材料技術を活かし、高性能・高機能製品のグローバルサプライヤーを目指します。



Environment & Energy

環境エネルギー



送配電用電線・ケーブル

発電所とユーザーの間を結び送配電ネットワーク向けに各種の電線・ケーブル類を提供しています。特に電力会社や各国間の電力連系、大規模洋上風力用に、超高压の直流海底ケーブルの需要が増加しており、布設工事も含め電力の安定供給に貢献しています。



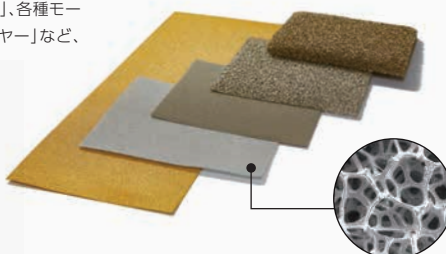
マグネットワイヤー

電気エネルギーを磁気エネルギーに変換させるために使うマグネットワイヤー。ハイブリッド自動車や電気自動車、家電製品、電子機器のモーターやコイルなどに幅広く使用されています。



銅荒引線

創業以来120年にわたり作り続けてきた銅荒引線を母材として数多くの当社グループ製品が生まれてきました。超高压・大容量の「地中・海底ケーブル」、自動車の神経や血管とも呼ばれる「ワイヤーハーネス」、各種モーター・コイル等に使用される「マグネットワイヤー」など、当社グループ製品を幅広く支えています。



多孔質金属体 (セルメット®)

3次元網目構造を持つ多孔質金属体です。ニッケル (Ni) だけでなく、Ni-Cr、Ni-Snといった合金系のラインナップがあります。ハイブリッド車用ニッケル水素電池の正極集電体や燃料電池の構成部材、水素発生装置の電極材などに適用され、省エネと環境負荷低減に大きく貢献します。

総合電力ケーブルメーカーとしての事業基盤や高い技術力で世界へ。 世界のエネルギーシステム構築に貢献。

銅を溶かし、固めて、伸ばす。創業時からの銅線製造の流れを組む電線・ケーブル製品。低圧から超高压の電線・ケーブル製品において、国内トップの事業基盤、実績を誇るなど、エネルギーインフラを日本中で支えています。そして今、ヨーロッパを中心とする国際連系線プロジェクト、新興国におけるインフラ整備、再生可能エネルギー利用の増大、電気自動車の普及など、新たなエネルギーシステムの構築には住友電工グループの技術が必要とされています。付加価値の高い多様な製品群とサービス、企画提案力、重電機器・エンジニアリング分野の関係会社を含む総合力、原材料から製品までの一気通貫での開発体制を強みに、グローバルなプレゼンス向上を目指します。



レドックスフロー電池

イオンの酸化還元反応を利用して充放電を行う蓄電池です。長寿命で安全性も高く、太陽光や風力などの再生可能エネルギーの導入を拡大していく上で必要となる技術として期待されています。

架空送電線

発電所から変電所を経て需要地まで遠距離の電力輸送を行います。送電による電力ロスを抑えるものや、錆びにくく長寿命のものなどを取り揃えています。



鉄道車両用空気ばね

新幹線や地下鉄をはじめ国内外の鉄道車両に広く使われています。走行時の振動を吸収することで、鉄道の高速度、快適で安定した乗り心地を実現しています。電線の被覆材から派生した技術をもとに、信頼性の高いゴムを開発し、本製品に使用しています。

家庭用蓄電池 POWER DEPO®シリーズ

太陽光発電パネルおよび電力会社の系統と連系可能な家庭用蓄電池です。再生可能エネルギーのニーズが高まるなか、エネルギーは家庭でつくる時代です。ご家庭の太陽光発電を最大限活用することで、電気の自給自足、環境に優しいカーボンニュートラル社会に貢献します。





Infocommunications

情報通信

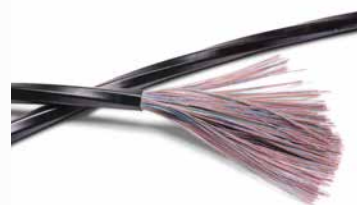
光ファイバ・ケーブルの開発力、製造技術は世界トップレベル。 大容量高速通信時代をリードする。

社会基盤として欠かせない通信インフラ。そこで活躍しているのが住友電工グループの光ファイバ・ケーブルや光通信部品・機器。1970年代から製造を始めた「光ファイバ」では、超長距離海底システム用途で開発した「極低損失光ファイバ」(総距離1万km超)が伝送損失の世界記録を持つなど、優れた伝送特性や高信頼性を活かした製品群を展開しています。その他、データセンタ向け超多心光ケーブルでは世界トップレベルの開発力、製造技術、映像・光アクセス機器のソフトウェア開発技術、光通信・無線通信用化合物半導体デバイスの設計・製造技術など、接続(つなぐ)を担う高い技術を有しています。私たちが大切にしているこれらの技術を活かし、様々なユーザーの“期待の一步先”を実現、独創的な製品を開発することで、大容量高速通信時代をリードしていきます。



光ファイバ

光ファイバは人間の髪の毛ほどの細いガラスでできており、その中に光信号を閉じ込め、この光信号を数十km先まで伝搬させることができる高性能の伝送媒体です。電磁誘導ノイズの影響を受けない高い通信安定性と、高速かつ長距離の伝送を可能とするなどの特徴があります。



光ケーブル

光回線の需要増加によって光ケーブルの布設量も増える中、布設箇所の収納効率を高めた細径光ファイバケーブルが活躍しています。また、データセンタでの高密度配線需要に対応した超多心光ケーブルなど、多彩なラインナップで光通信網を支えています。

化合物半導体 (GaAs, InP)

化合物半導体は、光ファイバ通信用レーザや受光素子、携帯電話などの無線通信システム用の各種トランジスタ、さらにCD・DVD・Blu-rayなどの光源、照明用の白色LEDなどに使われています。



融着接続機

放電を利用して、ガラス製の光ファイバ同士を短時間かつ簡単に接続する、光ネットワーク構築に不可欠な製品です。世界初の独自AI技術搭載により、環境やスキルに依存せず、常に高品質な接続が可能です。



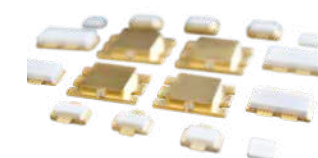
ブロードバンド ネットワークシステム・機器

光アクセスシステム (EPON) や4Kセットトップボックスなど新しい通信・放送サービスの中核を担う機器や、お客様のご要望にきめ細かくお答えするシステムインテグレーションの提供を通じて、快適な情報通信社会の実現に貢献しています。



光デバイス

光で動画や音声などの情報を伝える光通信に欠かせない部品です。高速・低消費電力・小型の光送受信用デバイスで各家庭と局、データセンタ、都市を結び、長距離・大容量のデータ通信を可能にします。



電子デバイス

無線通信を実現する重要部品です。低消費電力化、小型化が要求される第5世代移動通信システム (5G) 基地局、高い信頼性が求められる衛星通信、航空管制や船舶用・気象観測用のレーダーにも採用されています。



Automotive

自動車

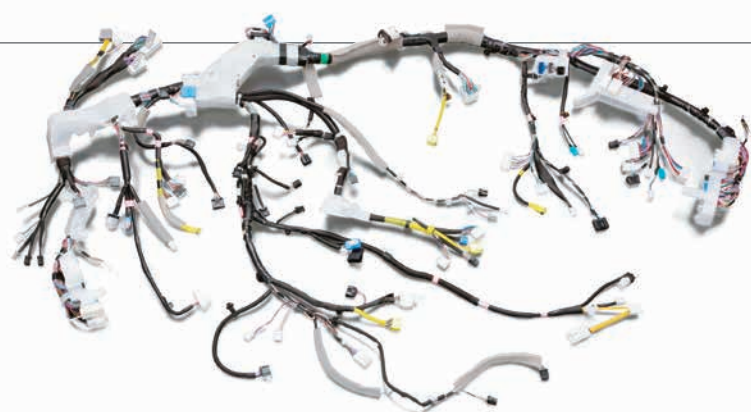
世界32の国と地域へのグローバル展開力が強み。今後も自動車業界の大変革に貢献。

主力製品は自動車内部の隅々に張り巡らされ、電力と情報を伝える「ワイヤーハーネス」。激しい振動や熱に耐えながら確実に電力と情報を行き渡らせるハーネスには高度な技術が必要で、住友電工グループは大きく先行。世界の車の4台に1台のハーネスが当社製※という高い市場プレゼンスを確立しています。自動車の軽量化に貢献するハーネスのアルミ化も着実に進展。電動車の普及はもちろん、車が膨大な情報を扱うコネクテッドカー、自動運転車の実現にも私たちの「つなげる、つながる」技術が欠かせないものとなっています。自動車と人や社会がつながる次世代に向け、従来ワイヤーハーネスの進化に加え、電動化・高速通信・インフラ連携の技術開発を加速させ、モビリティのつなげるパートナーとして「つなげる」ビジネスの拡大を目指します。

※当社調査による市場シェアの推計に基づく。

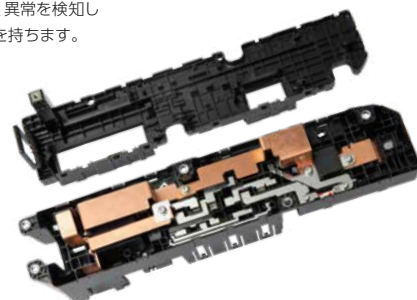
ワイヤーハーネス

自動車の隅々に張りめぐらされているワイヤーハーネス。エネルギーと情報の伝達を担い、人間に例えると血管や神経に相当する重要な製品です。自動車の電子制御機能の増加に伴い、ますます重要な部品となっています。



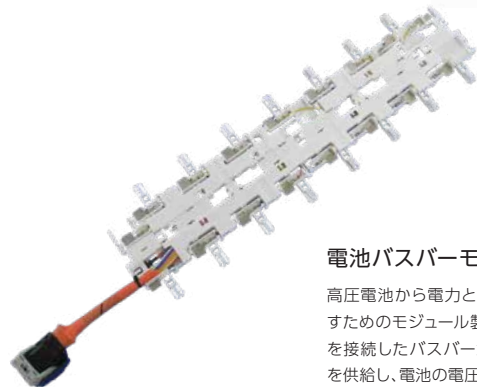
高圧ジャンクションボックス(高圧JB)

EVやPHEVなどの電動車に搭載される製品です。高圧電池、インバータ、モータ、充電器など各電気機器間の配電機能や、異常を検知して電気回路を保護する機能を持ちます。



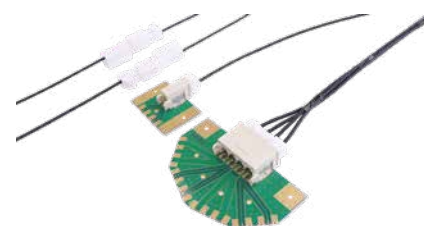
電池バスバーモジュール

高圧電池から電力とセンサ情報を取り出すためのモジュール製品です。電池セル間を接続したバスバーから電池外部に電力を供給し、電池の電圧・温度を検知、車載コンピュータ(ECU)に伝えることで、電池を安全かつ効率よく使えるようにする機能を持ちます。



高速通信ハーネス

CASEの進展により、車内だけでなく車外とのさまざまな情報伝達が増加しています。高速車載通信用ハーネス・コネクタ・電線技術は、大容量のデータを遅延なく伝達し、安全・安心・快適なカーライフの実現に貢献します。



セントラルゲートウェイ

さまざまな車載コンピュータ(ECU)をつなぎ、多重通信を中継する役割を担っています。



交通管制システム・車両運行管理システム

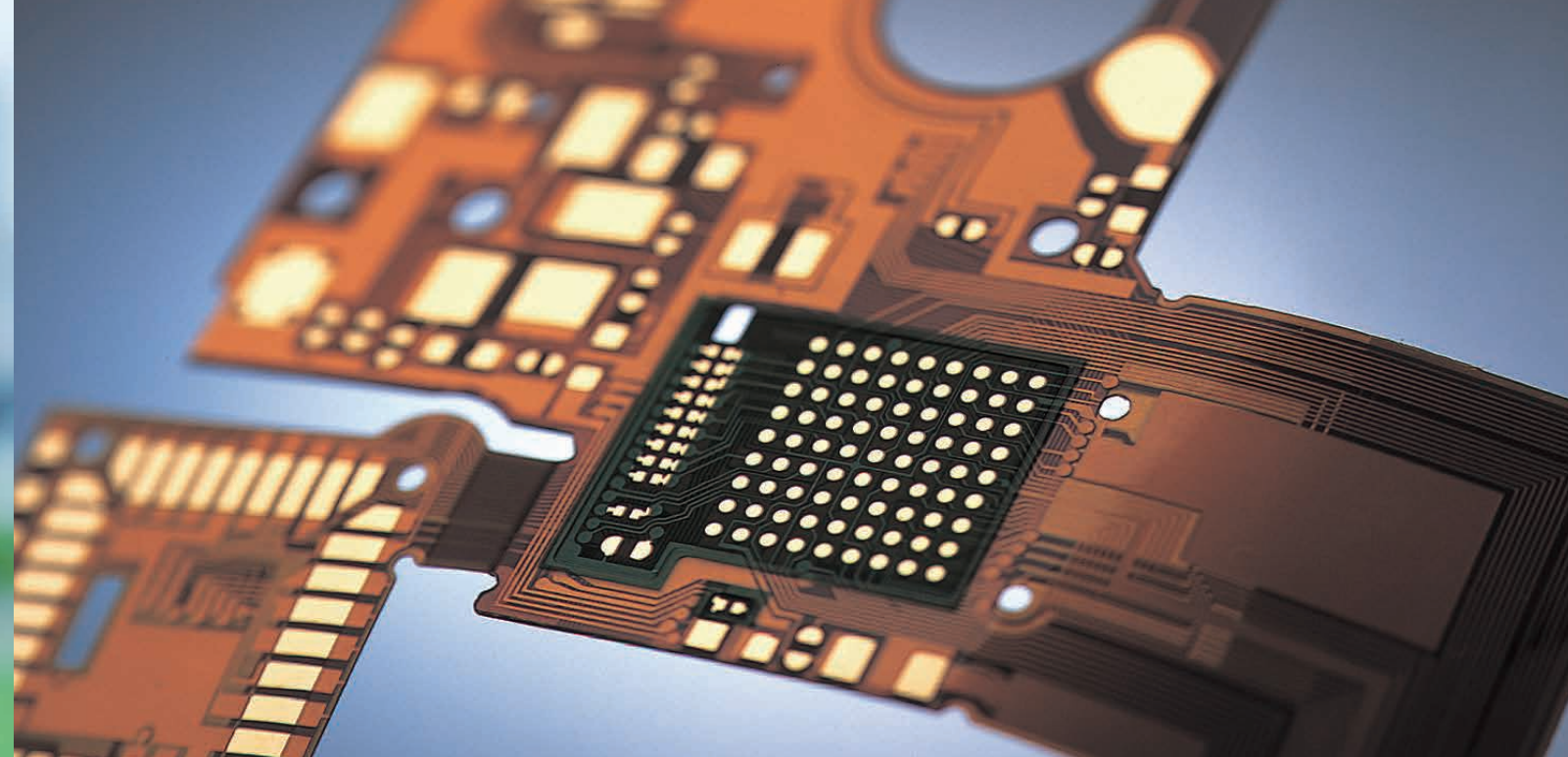
人・車・社会を情報でつなぐ高度道路交通システム(ITS)は、安全・安心や環境に貢献する、新しいシステムを実現します。例えば、交通管制システムは信号機をコントロールすることで、安全で円滑な交通流を実現します。また、ITS/モビリティ関連技術を活用した車両運行管理システム[Eagle Sight®]など、人・車・モノの最適な流れを実現する為のソリューションを提供しています。



防振ゴム

エンジンや路面からの振動を吸収・抑制し、モビリティの安全で快適な移動を実現する重要な機能部品です。近年では電動化にも迅速に対応し、電気自動車(EV)や燃料電池自動車(FCV)に関連した製品も増加しています。



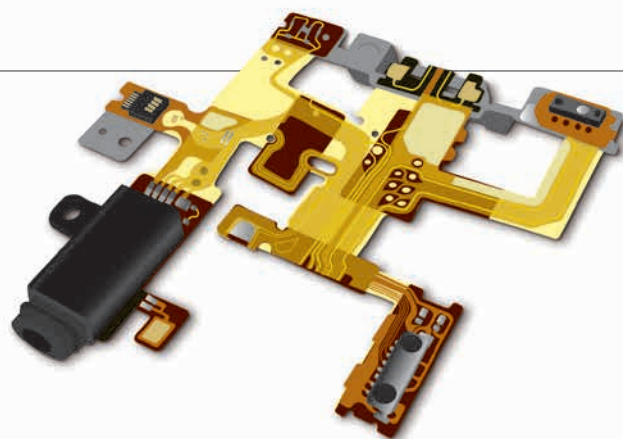


Electronics

エレクトロニクス

スマートフォンなど世界中のモバイル端末や自動車、航空機器のさらなる進化に貢献。

様々な電子機器の発展を内側から支えてきた住友電工グループの多彩な素材・配線材・部材。主力製品の「フレキシブルプリント回路」は、小さな面積の中に高密度で自由度の高い設計が可能で、複雑化するあらゆる機器内配線に対応できる配線材料です。電子ワイヤー製品や熱収縮チューブなどの電子線照射技術やプリンター用定着ローラなどのフッ素樹脂加工技術といった独自の材料開発・設計・加工技術に加え、高速伝送技術にも強みを持ち、高機能化のニーズに応える製品を生み出し続けています。これらの技術を磨き続けると共に、グローバル競争に対応すべく、サプライチェーンの強化を進め、高性能配線と高機能部材のグローバルサプライヤーを目指します。



フレキシブルフラットケーブル (スミカード®)

コネクタにワンタッチで着脱できる、高密度実装に最適なフラットケーブルです。テレビ、OA機器、ゲーム機など、私たちの日常生活におけるあらゆる電子機器に用いられます。USB4、PCIe Gen5、V-by-One USなどの高速伝送規格、125℃以上の高温環境への対応を進めており、製品の高機能化を支えています。



フレキシブルプリント回路 (FPC)

フレキシブルプリント回路は、極薄の絶縁フィルム上に電気回路を形成した配線材料です。軽量・耐熱性・柔軟性に優れるといった特徴を持っていることから、自由にかつ高密度な電気回路を設計できます。そのため多くの電子機器 (スマートフォンやタブレット、ゲーム機、ハードディスクドライブなど) の小型化・高機能化に貢献しています。

タブリード

タブリードは、スマートフォンや電気自動車に使用されるパウチ型Liイオン電池から電気を取り出すためのリード線です。当社のタブリードは、導体に直接表面処理を施し、熱変形を抑制した絶縁層を有しており、耐久性・封止信頼性に優れ、電池の高性能化・高寿命化に貢献しております。



Thunderbolt™4ケーブル

Thunderbolt™4は、USB4と互換性を持つ高速伝送の最新規格です。当社開発品は、電線に独自の高性能極細電線を採用しており、柔軟で耐屈曲性に優れることから、省スペース配線が求められる4Kディスプレイやゲーム用PCなど、様々な用途で大容量通信を可能としています。



ポアフロン® 膜分離排水処理装置

当社独自のPTFE (四弗化エチレン樹脂) 多孔化技術に基づき、水処理用として開発した中空糸膜モジュール製品です。高強度で油分などにも汚れにくい特徴があり、この膜モジュールを使用した排水処理装置は、廃水の再利用・省スペース化・維持管理の省力化を可能にし、国内外の下水や各種産業排水処理用途で、700か所以上の導入実績があります。



熱収縮チューブ (スミチューブ®)

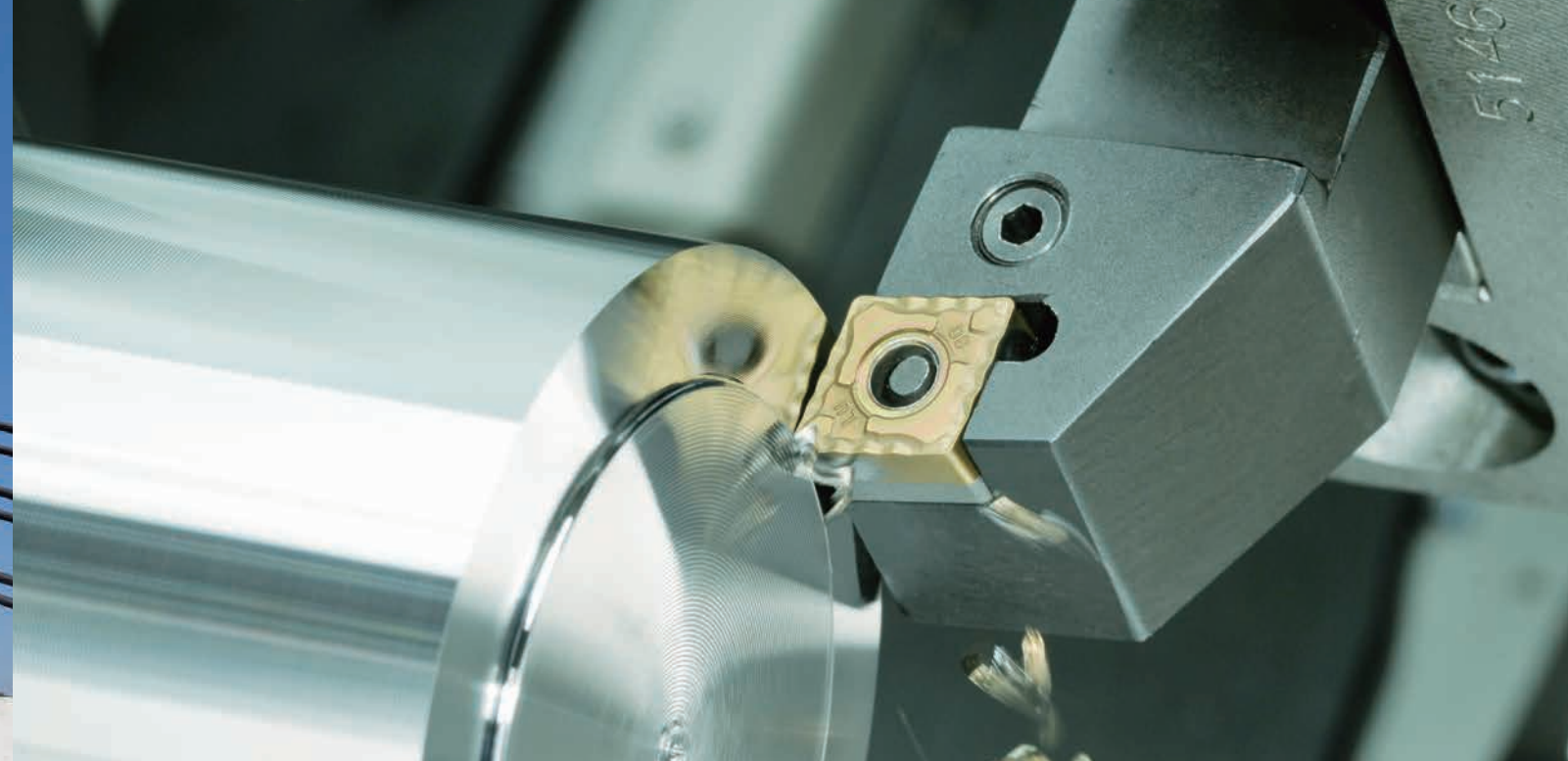
加熱により内径方向に収縮するチューブで、家電、電子機器、自動車、航空機などの分野で、電線・ハーネスの絶縁保護、防水、結束などに使用されています。



プリンター用定着ローラ

高強度・高耐熱性を有した製品で、レーザープリンターなどのOA機器のトナー定着部品として使われています。

USB4はUSB Implementers Forum, Inc.の商標です。
PCIeは、PCI-SIGの商標です。
V-by-Oneは、ザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です。
Thunderbolt、Thunderbolt ロゴは、米国 Intel Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。



Industrial Materials

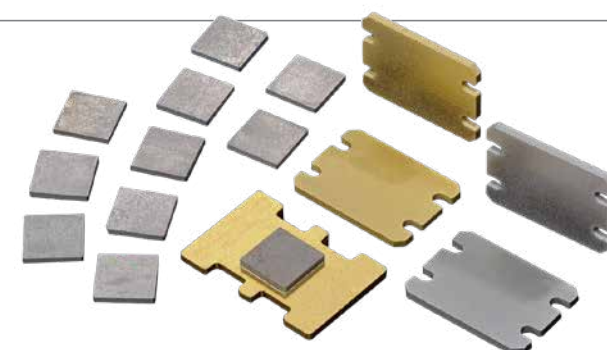
産業素材

世界トップレベルの材料技術で、社会の課題に対する新たな解決策を形に。

銅線を細く伸ばす伸線技術を基盤に発展した住友電工グループの材料。ダイヤモンドや立方晶窒化ホウ素、超硬合金といった素材を用いた「切削・研削工具」は、今、あらゆる領域で、世界のモノづくりを支えています。他にもコンクリート構造物やタイヤなどを補強する「特殊金属線」、主に自動車に使用される「焼結機械部品」は社会や産業の発展に欠かせないものとなっています。自動車の軽量化ニーズの増加、医療・航空機市場の伸長に応え、世界トップレベルの材料開発力、生産技術力を活かして、お客様や社会の課題に対する新たな解決策を形にしています。

切削工具 (イゲタロイ®、スミボロン®、スミダイヤ®)

金属を切る、削る、穴をあける、などの切削加工を行う際に用いられるのが、切削工具です。ダイヤモンド、立方晶窒化ホウ素に次ぐ硬さと鋼のような強靱さを兼ね備えた超硬合金工具「イゲタロイ®」、立方晶窒化ホウ素や超微粒のダイヤモンド粒子を刃先に用いた「スミボロン®」「スミダイヤ®」などがあり、機械加工分野における生産性向上と加工コスト低減に貢献しています。



高性能放熱基板

電動自動車(HEV、EV)や電力分野、通信機器、照明用LEDなど、ハイパワー半導体デバイスの放熱部材として、銅モリブデン、銅タングステン、セラミックスやダイヤモンドなどの高性能ヒートシンク材料が利用されています。



研削ホイール

高効率・高精度加工を実現する研削加工用ホイールは、超砥粒と呼ばれるダイヤモンド・立方晶窒化ホウ素(CBN)を使用し、自動車、航空機、機械、医療機器、半導体部品など幅広い産業のモノづくりを支えています。

焼結機械部品

金属粉末を圧縮した成形体を焼き固める(=焼結)粉末冶金技術で作られた部品は、高い寸法精度が得られる複雑形状部品の大量生産に適しているなどの特徴を活かし、自動車のエンジン部品、駆動系部品からエアコン部品などに使われています。



特殊金属線

自動車エンジンの弁ばねなどに使用されるばね用鋼線や、ラジアルタイヤの補強材に使用されるスチールコード。自動車業界からの、省エネ・安定性・安全性・快適性のニーズに応え、私たちの快適なドライブを支えています。また、PC鋼材はコンクリート構造物、LNGタンク、枕木などの強度や耐久性の向上のために使用され、広く社会を支えています。



本書に記載されている会社名・製品名などは各社の商標または商標登録です。

President's Message



“Glorious Excellent Company”の実現に向けて

私たち住友電工グループは、
「住友事業精神」と「住友電工グループ経営理念」という、
不変の企業の人格的価値を堅持しながら、グループの成長・発展を通じて
社会に貢献する“Glorious Excellent Company”をありたい姿とし、
その実現に向けて取り組んでおります。

現在、エネルギー、情報通信、モビリティの分野では、
技術の革新や融合が進み、大きな変革期を迎えようとしています。
IoT技術が行き渡り、エネルギーネットワークがスマート化し、
電動化したクルマをはじめ、さまざまなモノがつながることで、
新しいサービスが生まれ、それにより持続可能で、安心・安全、
豊かで快適な暮らしが実現してゆくと考えます。

この変革期を成長機会と捉え、グループの総力を結集し、
創業以来育んできた「つなぐ、ささえる技術」をもって、
イノベーションを起こし、
新たな技術や製品、サービスを提供してまいります。
それによって、さらなる成長をめざし、
より良い社会の実現に貢献してゆきたいと考えております。

皆様におかれましては、
引き続きのご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

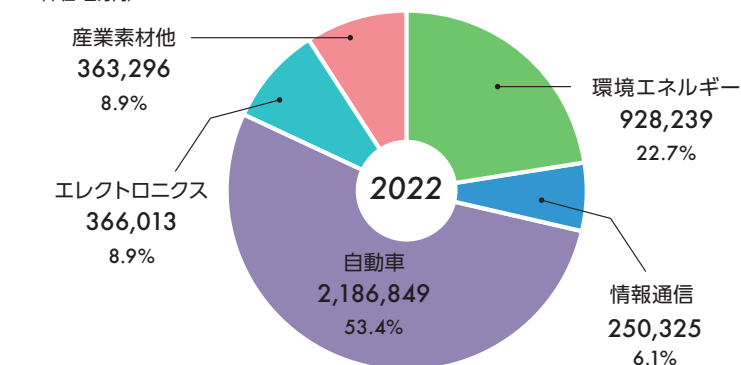
社長 井上 治

Company Profile

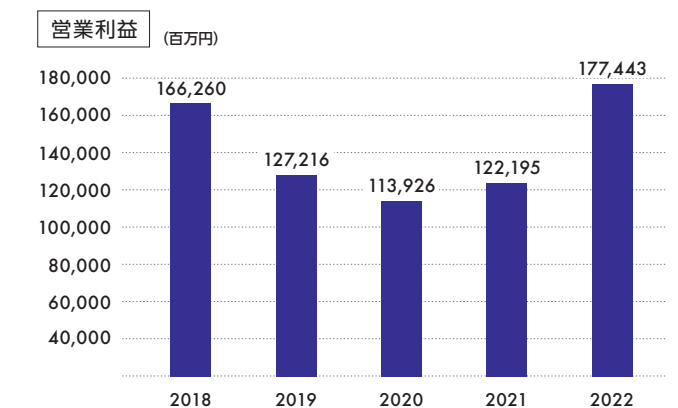
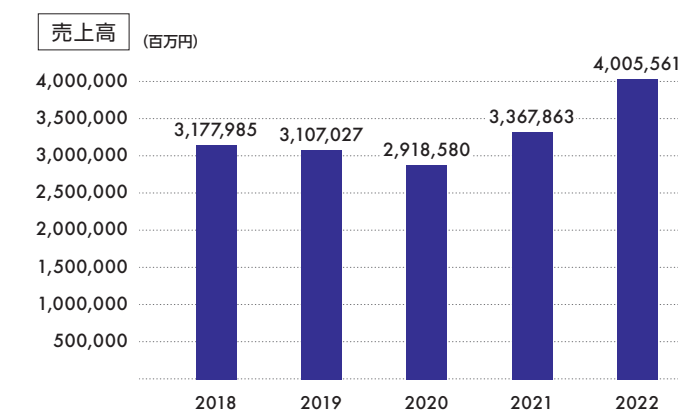
商号	住友電気工業株式会社
本社所在地	大阪市中央区北浜4-5-33 (住友ビル)
創業	1897年4月
資本金	99,737百万円
社長	井上 治
従業員数	単独 7,144名 連結 289,191名 (2023年3月末)

事業セグメント別売上高

(単位:百万円)



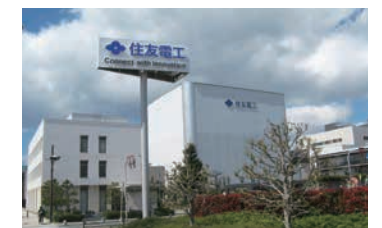
業績推移 (連結) (2023年3月末)



大阪本社



東京本社



大阪製作所



伊丹製作所



横浜製作所



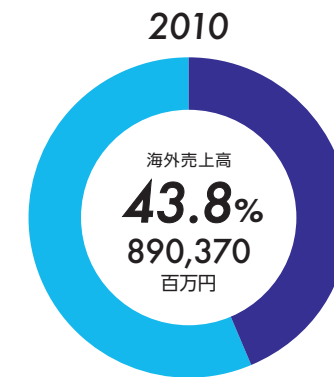
中部支社

Global Network

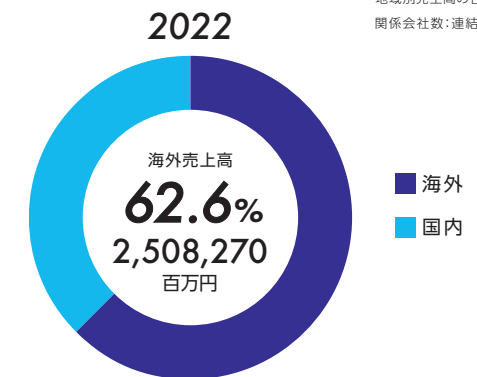
世界各地に展開し、社会を支える住友電工グループ

世界 約 **40** カ国へ展開 | 関係会社 **414** 社 | グループ社員数 約 **28** 万人

※地域間の内部売上高などを含むため、地域別売上高の合計は正規の売上高とは異なります。
関係会社数：連結子会社及び持分法適用会社の合計



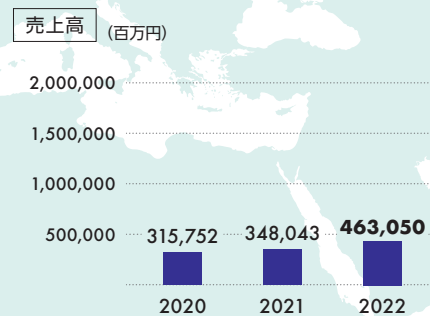
連結売上高 2,033,827百万円



連結売上高 4,005,561百万円

Europe and Others

70 社



[TOPICS]

世界同一品質を実現するワイヤーハーネス

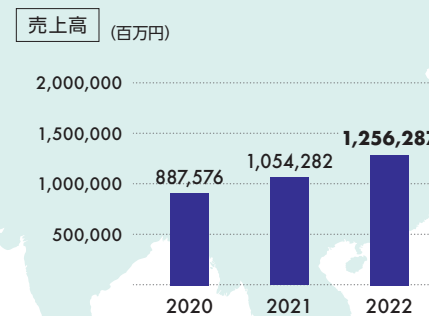
自動車の電力や情報の伝達を担うワイヤーハーネス。当社グループでは、電線素材を銅からアルミに変えたワイヤーハーネスを開発し、大幅な軽量化を実現しました。また、世界中のどの製造拠点からも「同一かつ最高品質」の製品をお届けできるよう、日々モノづくりに取り組んでおり、北アフリカの最大生産拠点であるモロッコでも、常にその方針を掲げ、生産・改善活動を行っています。



モロッコの生産現場のようす

Asia

191 社



[TOPICS]

高品質な直流送電システムの構築

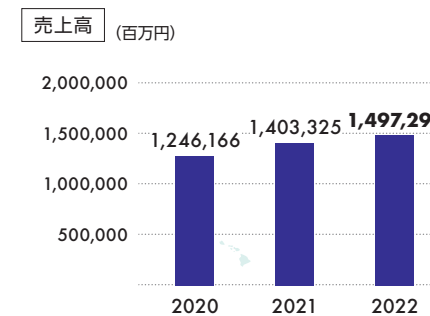
当社とドイツのシーメンスエナジー社は、インド南部の電力供給不足の解消及び送電システムの安定を目的とした地中ケーブルを含む直流送電システム(2,000MW)の建設工事を受注し、2021年3月に商用運転を開始しました。今回完工した送電システムにより、インド国内の送電システムの安定性と電力品質の向上、ならびに効率的な電力供給が可能になりました。



ケーブル布設のようす

Japan

105 社



[TOPICS]

長寿命かつ安全なレドックスフロー電池

脱炭素社会の実現、再生可能エネルギーの導入促進により大型蓄電池が注目されています。当社のレドックスフロー電池は長寿命で発火性がないため、安全性が高く、風力や太陽光発電の系統安定化対策や電力のピークシフト、電力レジリエンス対策としてのマイクログリッド用途としても期待が高まっており、国内外の電力会社等で採用されています。最近では北海道電力ネットワーク(株)の系統側蓄電池(世界最大級の設備容量)として導入され、2022年4月より稼働を開始しています。



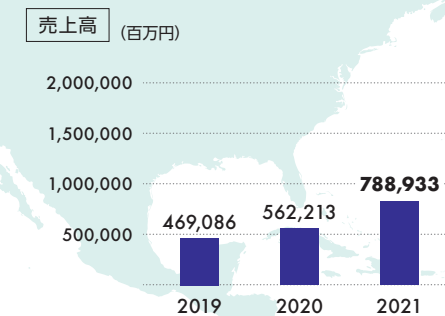
北海道電力ネットワーク株式会社向けレドックスフロー電池設備

主要グループ会社(エリア別・セグメント別)の詳細はこちら
https://sumitomoelectric.com/jp/company/office_group_companies



Americas

48 社



[TOPICS]

超硬合金リサイクルによる環境負荷低減

超硬工具の主原料である、タングステンなどのレアメタルは貴重な資源です。当社グループでは、原材料の安定確保と資源の有効活用の観点から、使用済みの工具を回収して溶解・再加工するリサイクル体制を整えております。国内に加え、米国にもリサイクル拠点を設け、グループで連携して環境負荷低減に貢献していきます。



リサイクル体制を整えたアメリカ・ニューヨーク州の工場

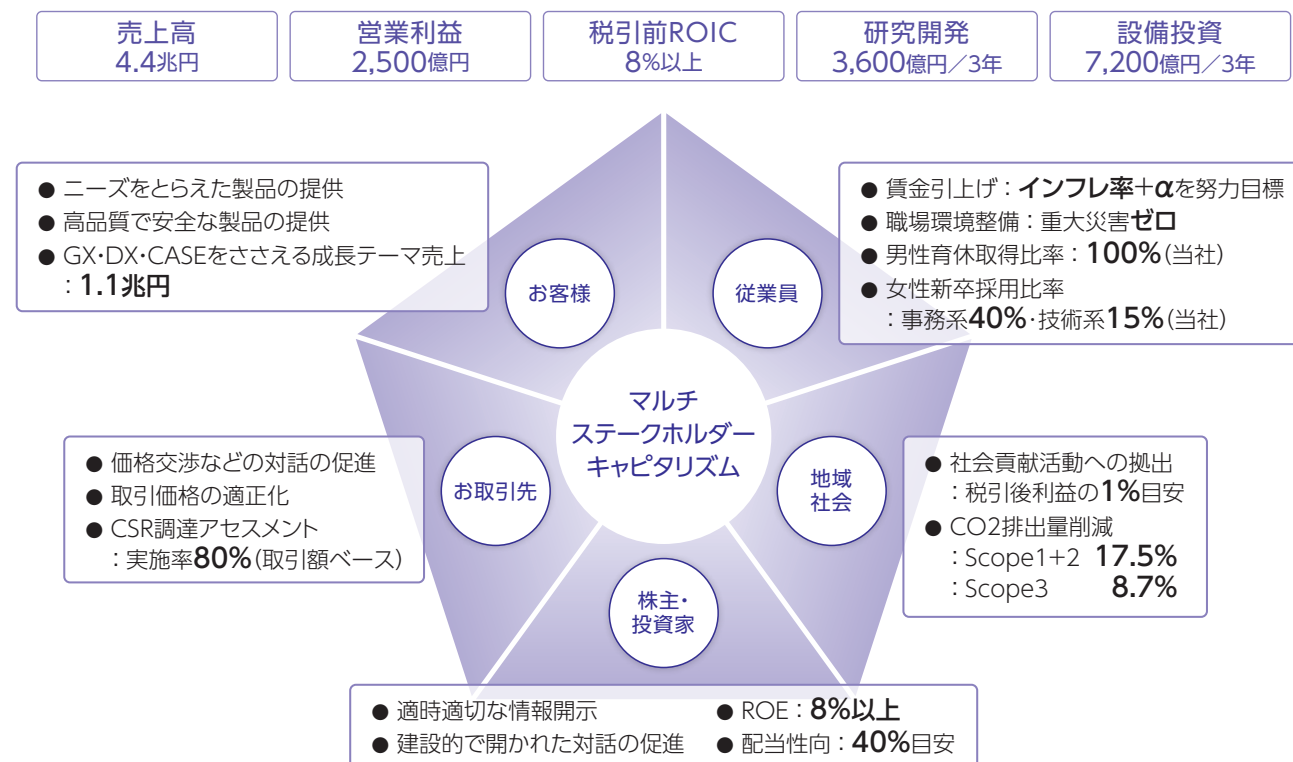
タングステンリサイクルに関する詳細はこちら
<https://sumitomoelectric.com/jp/id/project/v17/01>



Our Vision

中期経営計画 2025

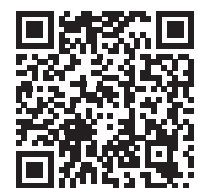
基本方針・マルチステークホルダーキャピタリズム



2022年5月公表の「住友電工グループ2030ビジョン」を踏まえ、2023～2025年度の実行計画として「中期経営計画2025」を策定しました。

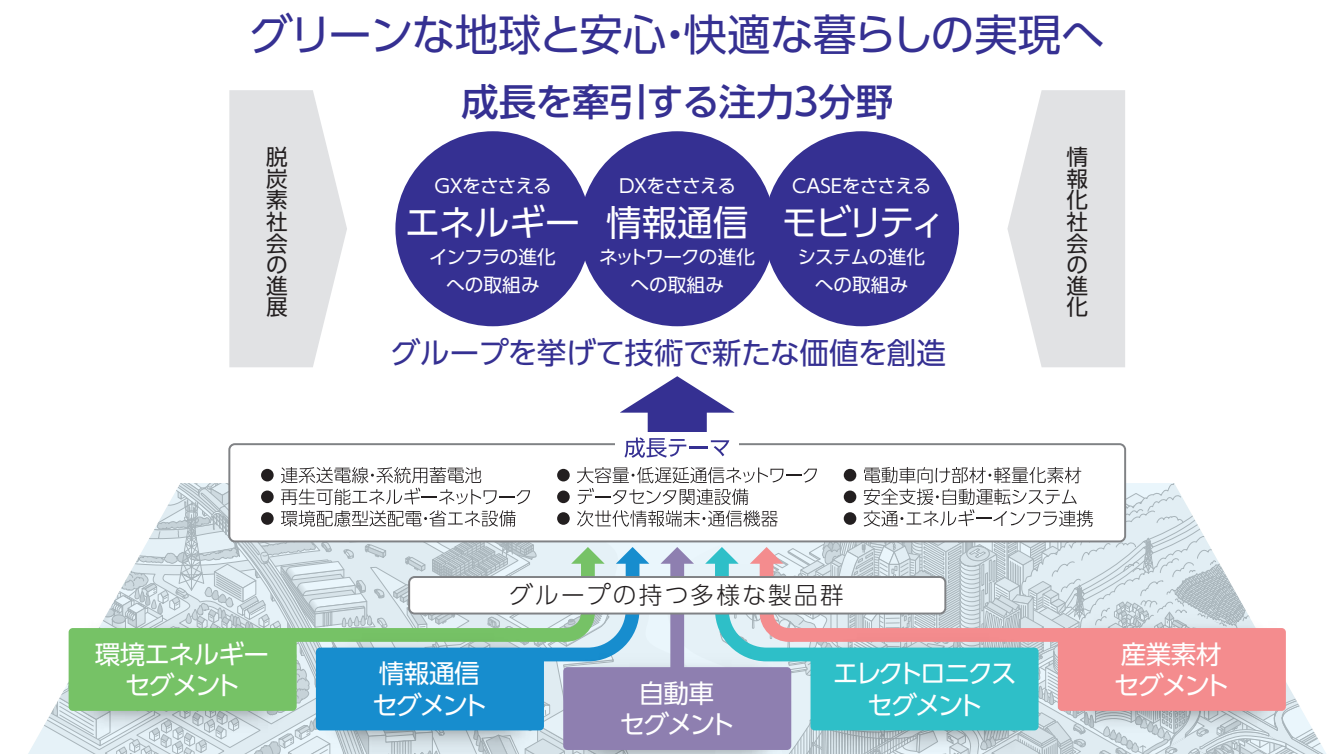
「中期経営計画2025」は、「つなぐ・ささえる技術でグリーン社会の未来を拓く」をスローガンに、「脱炭素社会の進展」や「情報化社会の進化」に伴うグローバルな事業機会を確実に捉え、グループの総合力で成長戦略を推進するとともに経営基盤の強化に取り組み、その成長の成果を適切にマルチステークホルダーの皆様へ分配していくことを基本方針としています。

当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上には、マルチステークホルダーの皆様との協働が不可欠であり、成長の成果を着実にマルチステークホルダーの皆様へ還元していくこととしています。このことを「マルチステークホルダーキャピタリズム」の実践として、具体的には、上記の指標・目標の実現に向けて取り組んでまいります。



住友電工グループ・中期経営計画2025はこちら
<https://sumitomoelectric.com/jp/company/segmid-term2025>

成長戦略・基盤強化



「中期経営計画2025」は、成長を牽引する「エネルギー」「情報通信」「モビリティ」の注力3分野において、「脱炭素社会の進展」「情報化社会の進化」で広がる事業機会を捉えたグループ横断的な9つのテーマを「成長テーマ」として位置づけています。

グループの持つ多様な製品群をベースとして、グループを挙げて技術で新たな価値を創造し、「グリーンな地球と安心・快適な暮らしの実現へ」貢献してまいります。

また、経営基盤を更に強化し、変化に強い企業体質を構築してまいります。

特に、「研究開発」において、顧客ニーズを捉えた現行事業の進化や未来社会ニーズを捉えた新規テーマへの挑戦に取り組むとともに、世界最高水準を実現する「モノづくり力」や構造的変化と急激な変動に対応できる「強靱なサプライチェーン」の構築に向けた取り組みを進めてまいります。

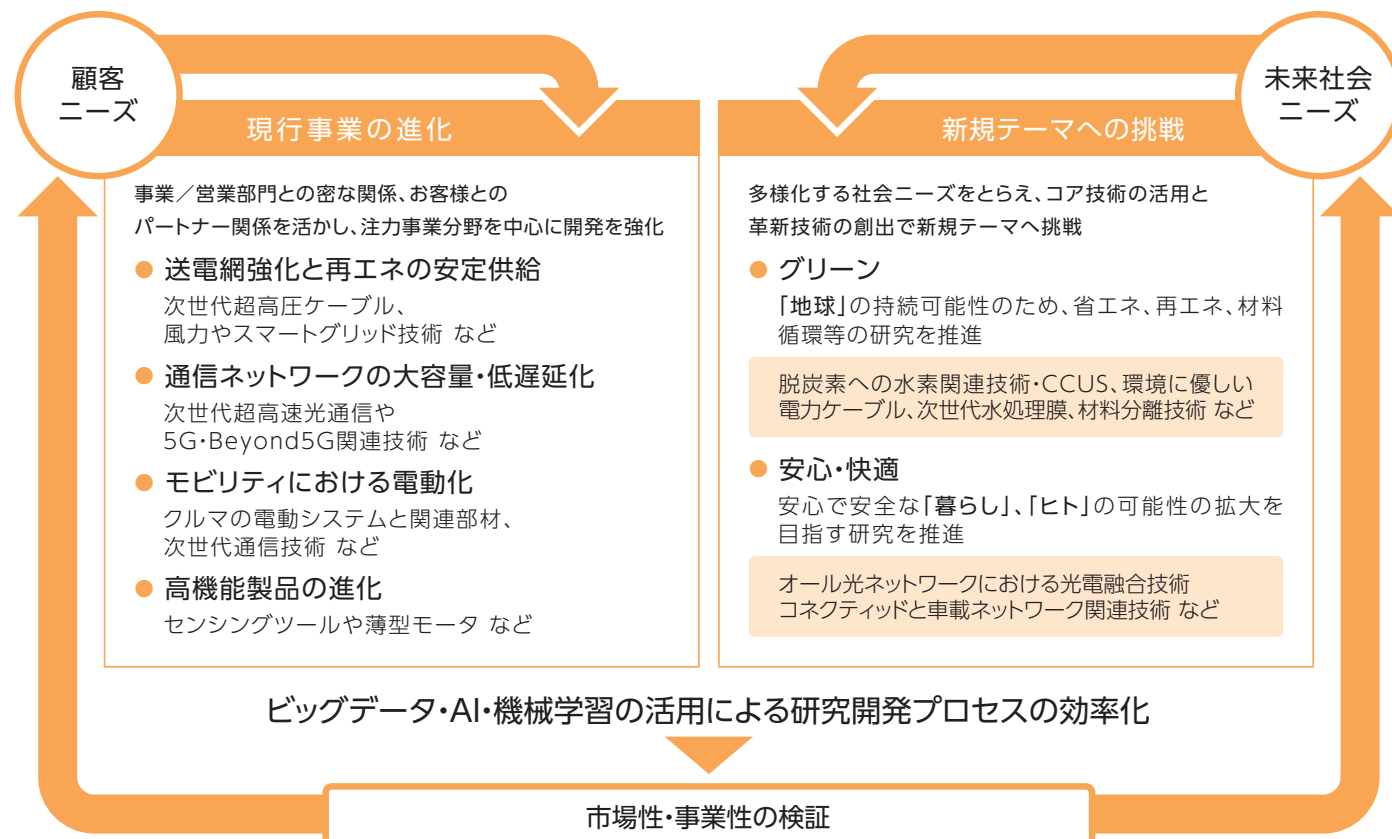
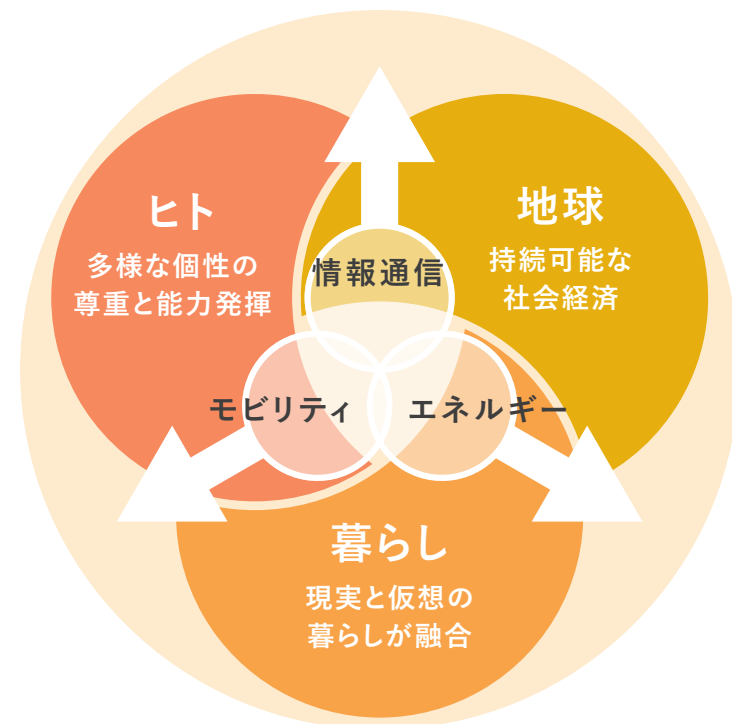


住友電工グループ・2030ビジョンはこちら
<https://sumitomoelectric.com/jp/company/segvision2030>

Research & Development

次世代を担う研究開発テーマ

モビリティ、エネルギー、コミュニケーションの領域を中心に、幅広く保有するコア技術の強化、自動車やエネルギー分野の大変革とこれらの融合に応えるイノベーションの創出、大きな社会変革をもたらすと期待される革新技術へのチャレンジに取り組みます。



TOPICS 研究開発費(連結) 1,277億円 (2023年3月末)

01 2026年に車載光ハーネス実用化へ 開発加速

2026年の実用化に向け車載光ハーネスの開発を推進しています。開発中のワイヤーハーネスは、従来品と異なり、高速・大容量通信*と軽量化の両立が可能で、耐ノイズ性にも優れます。長年培ってきた光通信技術とワイヤーハーネス技術の融合により、車載通信ネットワークの付加価値向上およびCASEの進展に貢献します。

* 伝送速度10Gbps超の超高速通信が可能

02 世界初の標準外径19コア光ファイバを開発し、伝送容量の世界記録を更新～Beyond 5G後の長距離光通信のキーテクノロジー～

次世代の大容量光通信インフラとして、マルチコア光ファイバ(MCF)の開発を推進しています。当社が開発した19コアMCFは伝送装置の消費電力を抑えつつ、通信容量を飛躍的に向上させるキーテクノロジーとして期待されます。

環境負荷を抑制しつつ大容量光通信を実現することで、情報通信社会の発展に貢献します。

03 物流事業における量子コンピューティング適用実用化の共同検討を開始～瞬時に最適な配送経路を計算し、物流の効率化をめざす～

人やモノの移動に対するニーズが複雑化し、サイバー空間に集約した情報や知識の高度な分析技術が求められます。当社では、大規模かつ複雑な組合せ最適化計算を特徴とする量子コンピュータを利用し、物流配送システムへの適用を進めています。

今後、都市全体の交通最適化など、Society 5.0の実現に向けた技術開発で社会に貢献します。



住友電工グループ・研究開発に関する詳細はこちら
<https://sumitomoelectric.com/jp/rd>



住友電工グループ・テクニカルレビューはこちら
<https://sumitomoelectric.com/jp/rd/technical-reviews/all>

「公益を重視し、ステークホルダーの皆様との共栄を図る」
という基本思想のもと

トップテクノロジーを追求し、

つなぐ・ささえる技術を

イノベーションで進化させ、

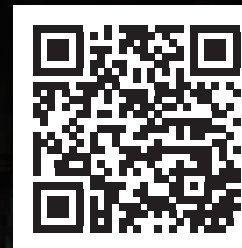
グループの総合力により、

より良い社会の実現に貢献していく

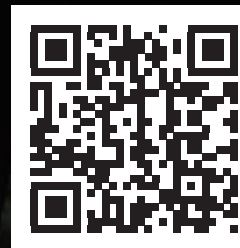
このような当社グループの存在価値（パーパス）を

これからも追及してまいります。

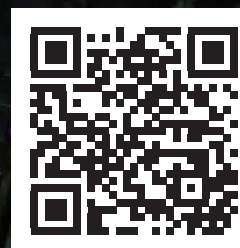
 **住友電気**
Connect with Innovation



住友電気グループ・未来構築マガジン[id]はこちら
<https://sumitomoelectric.com/jp/id>



住友電気グループ・CSR報告書はこちら
<https://sumitomoelectric.com/jp/csr-reports>



住友電気グループ・統合報告書はこちら
<https://sumitomoelectric.com/jp/company/integrated>